



【海商】 柳蒼二郎/著 請求記号 9 - ヤ

幕末の上海とシンガポールを舞台に、ジョン万次郎・ジョセフ彦より先駆けて活躍。福沢諭吉・森山栄之助にも影響を与え、一流商人・通訳として生き抜いた漂流者・山本音吉、烈々の生涯。



【手のひら、ひらひら】 志川節子/著 請求記号 9 - シ

野尻湖の発掘現場から人骨が発見された同じ日に、良寛ゆかりの五合庵で研究家が殺された。一茶と良寛について研究旅行中の田尻風見子と野村良樹に出会い、二つの事件の奇妙なつながりに気付いた竹村警部は核心に迫るが…。デビュー作『死者の木霊』につづいて“信濃のコロンボ”大活躍の旅情ミステリー



【ウロボロスの古写本】 レイモンド・クーリ著 請求記号 9 - ク

コーベンの調査の結果、イヴリンを拉致した首謀者の目的が写本にあったことが判明した。ミアとコーベンはイヴリンを救うため、写本の行方を知るファルークを探し始める。だが、彼らの前には、イヴリンの救出に協力したいという怪しげな男が…やがて明かされる、写本の驚くべき内容とは？そして過去と現代をつなぐ隠された糸が明らかに！『テンプル騎士団の古文書』の著者が再び放つ謎に満ちた冒険サスペンス巨篇。



【骸骨ビルの庭】上・下 宮本輝/著 請求記号 9 - ミ

育ての親、阿部轍正は、子供たちの一人、桐田夏美への性的暴行の汚名を着たまま、苦悩のうちに死んだ。真相を求めて、八木沢は夏美の行方を追う。過去の謎が謎を呼び、秘密は深まる。一方、八木沢はビルにもう一度焔を甦らせようと一人耕し始める。そして、小さな命が蕾をつけるとき、骸骨ビルの本当の意味が明らかになる。自分は何のために、そして、誰のために、生きているのか？心の奥底から溢れ出す人間への讃歌。すべての生きとし生けるものへ贈る感動の長篇小説。



【楠の実が熟すまで】 諸田玲子/著 請求記号 9 - モ

將軍家治の安永年間、帝がおわす京の禁裏では、出費が異常に膨らんでいった。経費を負担する幕府は頭を痛め、公家たちの不正を疑う。が、確証はなく、探索に送り込んだ者たちも次々に命を落とす。御徒目付の中井清太夫は、最後の切り札として、姪の利津に隠密御用を命じる。御取次衆の下級公家、高屋康昆のもとに嫁ぎ、証拠を押さえるのだ。期限は秋、楠の実が熟すまで。利津はひとり、敵方に乗り込む…。女隠密、利津の運命は。



【理屈が通らねえ】 岩井三四二/著

請求記号 9 - イ

苦勞して解いた「十字環」の謎に、旅の算法者が新しい解き方を示したという。この世の中で、算法にかかわることだけは、理屈を通さねば気がすまない。それでなくても、御家人の世界は、理屈が通らないことばかりだ。二文字厚助は、ほとんど嫌になっていたのである―。事件、騒動、錢勘定―。算法ならば通る理屈も、まるくおさまるためしなし。二文字厚助、悪戦苦闘の珍道中！松本清張賞、中山義秀文学賞受賞作家による、痛快時代小説。

